

他社製品からの

desknet's NEOお乗り換え事例

広島県 専門学校のお客様の場合

本資料について

利用中のグループウェアのサポートが終了してしまう・・・

利用中のグループウェアのサーバー管理コストがかさんでいる・・・
バージョンアップの手間がかかる・・・

属人化しているツールを見直したい・・・



本資料では上記のようなお悩みを持ったグループウェアのお乗り換えを検討されているお客様向けに
実際のお客様の事例を基に検討のポイントをご紹介します！

お客様情報

■広島県 専門学校のお客様

■desknet's NEO140ユーザーをパッケージ版でご利用中。
利用機能はスケジュール、設備予約、文書管理、タイムカード。

■以前は他社小規模向け製品のパッケージ版を約10年程、200ユーザー程で利用。
(実際の利用人数は150名前後)
利用機能はスケジュール、施設予約、ファイル管理、タイムカード。
製品に不満や課題はなかったが、製品サポート終了の告知があり
乗り換えを検討。



検討スケジュール

年度変わりの4月に新グループウェアの運用開始を目指して、繁忙期・移行期間も考慮して逆算し、検討開始時期を決めた。

2023年9月
検討開始
見積り依頼

2023年10月
デモ環境にて
検証

2023年12月
製品決定

2024年2月
製品導入

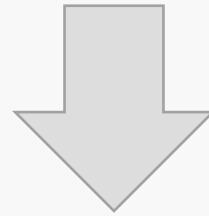
2024年4月
本運用開始



次ページからは、desknet's NEOに製品決定した決め手ポイントなどを
ご紹介します！

desknet's NEOにした決め手は？

以前の製品のサポート終了が告知されたことにより、乗り換えを検討。
以前の製品の大規模向け製品、他1製品とdesknet's NEOを比較検討していた。
予算の都合上、パッケージ版での検討を進めた。
利用していた機能が変わりなく利用できるかという点と費用面を検討のポイントとして比較した。



- 1.以前の製品と使用感を大きく変えず利用できること
- 2.比較検討製品よりも初期やランニングコストが安いこと

以上2点を最終的な決め手として**desknet's NEOへの乗り換えを決定！**



機能

機能が豊富にあり、
既存グループウェア製品と
同等の機能が揃っています！



ポータル



スケジュール



ウェブメール



アドレス帳



メモパッド



ネオツイ



議事録



設備予約



ワークフロー



安否確認



インフォメーション



文書管理



利用者名簿



キャビネット



備品管理



来訪者管理



仮払精算



プロジェクト管理



アンケート



購買予約



プレゼンス



回覧・レポート



ToDo



伝言・所在



Microsoft365
連携



電子会議室



タイムカード



Amazon
ビジネス連携

+ α のオプションで機能拡張も可能！



ノーコードツール



ビジネスチャット



クライアント認証



勤怠管理



交通費・経費精算



Googleカレンダー
連携



メールサービス



ウェブ会議

ご参考:AppSuiteとは

紙・メール・表計算ソフトで行われている様々な業務処理を、
4つのステップで「社内システム化」するWebシステムです。

ノンプログラミングで簡単に
Webアプリ化が可能！



サンプルアプリ例



顧客管理



アルコールチェック記録



社内FAQ



在庫管理



作業日報



商談記録



見積書



社内システム利用申請書

コストについて

パッケージ版基本ライセンス価格比較（140ユーザーで利用した場合）
※次年度以降サポート価格は除く

desknet's NEOクラウド版の
価格については[こちら](#)から！

desknet's NEO	他社製品 ※参考
700,000円（税抜）	1,540,000円（税抜）
※Webデータベース製品 （AppSuite）を含めたコスト	※Webデータベース製品を含めた コスト
1,260,000円（税抜）	Webデータベース製品はパッケージ版での利用不可

運用定着のために行ったことについて

導入前

オンラインデモ環境を周知して触ってもらう機会を設けた。
合わせて、わからない点や不安な点がないか意見を募った。

➡ オンラインデモにてdesknet's NEO / AppSuiteを体験できます！

お客様専用のトライアル環境も利用可能！
申込は[こちら](#)から！

導入後

たくさん機能があるためすぐに慣れてもらえるよう、利用機能だけを絞って表示させた。

➡ ポータル画面は利用する機能のアイコンを絞って表示させることが可能です！
その他自由にレイアウトを変更することも可能です。

ポータル画面について詳しくは[こちら](#)から！

導入後について

Microsoft365製品も以前から使っていたため、実際に利用してみてMicrosoft365製品とのシングルサインオン連携が出来た点がよかった。一部の職員はスケジュール連携も利用。desknet's NEOとMicrosoft365製品とで利用する機能を使い分けて併用している。

Microsoft365製品との
連携が標準で可能！



desknet's NEO

スケジュール共有、公用車・ポケットWi-Fi・教室の予約、
会議の資料や議事録の保管・共有



Microsoft365

メールでの情報共有、授業で利用する資料の保管・共有

Microsoft365連携について次ページ以降でさらに詳しく解説します！ 10

Microsoft365連携について①

■シングルサインオン連携

Microsoft 365の認証情報を用いたシングルサインオン（OAuth認証）に対応しています。1回のログインでMicrosoft 365とdesknet's NEOにログインできるとともに、desknet's NEOのポータルに登録したメニューからMicrosoft 365の各機能に直接アクセスできるようになり利便性が大幅に向上します。



Microsoft365連携について②

■Microsoft 365 Outlookの予定表とスケジュールを同期

desknet's NEOのスケジュール・設備予約に登録されたデータと Microsoft 365上のOutlook (Exchange Online) の予定表に登録されたデータを双方向に同期。desknet's NEOとMicrosoft 365の相互運用性を大きく高めることができます。

The image displays two screenshots side-by-side, connected by two orange double-headed arrows labeled "同期" (Sync). The left screenshot shows the "desknet's NEO" interface with a calendar view for the period from 2018年09月10日 (Monday) to 2018年09月16日 (Sunday). It lists various events such as "山田太郎" (Mr. Yamada) and "鈴木" (Mr. Suzuki) with specific time slots and titles. The right screenshot shows two Outlook calendar windows. The top one is titled "Outlook (山田さんの予定表)" and the bottom one is "Outlook (鈴木さんの予定表)". Both Outlook windows show a similar calendar view for the same period, with events corresponding to those in the NEO interface. The arrows indicate that data is synchronized between the NEO system and the Outlook calendars.

desknet's NEO 組織スケジュール

Outlook (山田さんの予定表)

Outlook (鈴木さんの予定表)

Microsoft365連携について③

■スケジュールからMicrosoft Teams会議を作成・参加

desknet's NEOのスケジュールから、1クリックでTeams会議予定を作成できます。会議の時間になったらスケジュールから予定をクリックしてTeams会議に参加。desknet's NEO上でTeams会議の調整から参加までの作業を完結できます。



Microsoft365連携について④

全社の情報共有を効率化する27アプリ

現場の業務処理を効率化するためのアプリ



+ 現場の業務に利用するoffice製品



Microsoft365

desknet's NEOと
Microsoft365製品との
併用運用が可能！



まとめ：お客様のグループウェア乗換のポイント



余裕を持って検討期間のスケジュールを立てる

グループウェア導入の検討を進めるにあたっては通常業務に時間がとられることや繁忙期を考慮し、余裕を持ってスケジュールを立てましょう。



他製品との連携について検討する

社内で既に導入している製品がある場合にはグループウェアやノーコードツールと連携することでより便利に使えないか検討してみましょう。



製品のすみ分けについて検討する

グループウェアだけでなく複数の製品を導入される場合は、どの製品でどの機能を利用していくのか事前にしっかりとすみ分けを行いましょう。

問い合わせ・支援について

グループウェアの乗換検討をはじめたら・・・
まずはお問い合わせください！

ネオジャパン営業部 導入相談窓口

045-640-5906 (横浜本社)

06-4560-5900 (大阪営業所)

052-856-3310 (名古屋営業所)

092-419-7277 (福岡営業所)

営業時間：平日9:00～12:00 13:00～18:00

※土日祝日、弊社指定休日を除く

メールでのお問い合わせ

neo@desknets.com

 フォームでのお問い合わせ

▶ [問い合わせフォームへ](#)

